＜＜ Coffee break Talk.14 “人生の必要無駄“ ＞＞

支部長 今林光秀

九州支部会員の皆様、2024年も残りわずかとなりましたがお元気にお過ごしでしょうか。暑かった夏を忘れてしまいそうな寒い年末ですが、数か月間の気候変化に適応している日本人とは忙しいものです。そうは言うものの、たまにはゆっくり「ぼおーッと」何も考えずにリラックスしてOFFすることは大切です。建築構造設計という人間のための空間を創造する職能を発揮するためにも、OFF時間をいかに上質に過ごすかは重要で、それが自身の懐の大きさに繋がるような気がします。これに関連してお話しします。

11月2日JSCA構造デザイン発表会in東北、前日仙台入りして見たかった建築を訪れました。塩竈市にある菅野美術館で、敬愛する構造家の故･新谷眞人さんによる鋼板構造の小さな彫刻美術館です。美術館入口の壁に貼られたプレート「芸術は人生の必要無駄　佐藤忠良」にハッとさせられました。

果たして自分には人生の必要無駄がどれほどあるのだろうか？　私にも少しはありそうです。

●芸術の必要無駄

絵画鑑賞：Coffee break Talk.3,5,6,7 参照。画家の想い･本物の魅力を感じるには美術館へ行こう。

音楽鑑賞：Coffee break Talk.6 参照。ウィーン学友協会で聴いた音に包まれた感動は人生の宝物。

オペラ鑑賞：オペラは難しくない。オペラ劇場空間は学び。オペラは総合芸術で建築にもつながる。

[ウィーン学友協会大ホール]
Wien/Berlin 劇場の旅(1996)
演奏会翌日に劇場ツアー
舞台の指揮台にも立てた！

[チューリッヒ歌劇場]
SEWC2011 & 構造の旅
一人で当日券オペラ鑑賞
Box 席に移してくれた！

●スポーツの必要無駄

泳ぐこと：ゆっくりクロール左右息継ぎで1kmほど泳ぐ。水に浮いているとなぜか楽しくてニヤニヤする。

走ること：Coffee break Talk.10 参照。冬は朝の5時ではないけど続けています。自分を褒めたくなる。

サッカー観戦：Coffee break Talk.3,8,9 参照。スタジアム屋根へ目が。スタジアム劇場空間に感動。

●旅する必要無駄

Coffee break Talk.3,4,10,11,12 参照　日本国中･世界中どこに行っても優れた建築と文化がある。それをリアルに体感することで学び･感動し、家族や仲間など大切な人と旅することで共感が生まれる。それを自身の設計に活かす。旅をしていると、建築という仕事に関われていることの幸せを感じます。

皆様も必要無駄を沢山お持ちと思います。大いに楽しんで九州構造界を高めて頂けたら幸いです。

6年間務めさせて頂いた支部長も来年5月の支部総会にて卒業することとなり、勝手ではありますが Coffee break Talk も次回の第15弾で最終回とさせて頂きたく存じます。それでは、良いお年を♪

「 2024年12月22日　お気に入りの豆を挽いてドリップするCoffeeも素敵な必要無駄 」